

## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 日本出版貿易株式会社  
 コード番号 8072 URL <http://www.jptco.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員事業管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 庵之下 博文  
 (氏名) 岩崎 哲明

TEL 03-3292-3751

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,010	△2.1	16	△64.0	△15	—	△50	—
24年3月期第3四半期	5,119	2.5	45	△52.5	21	△61.1	△55	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △36百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 31百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△7.29	—
24年3月期第3四半期	△8.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	5,239	756	14.4	108.41
24年3月期	6,342	793	12.5	113.69

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 756百万円 24年3月期 793百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	0.9	126	17.8	97	27.6	29	222.2	4.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	7,000,000 株	24年3月期	7,000,000 株
----------	-------------	--------	-------------

- ② 期末自己株式数

25年3月期3Q	23,450 株	24年3月期	22,100 株
----------	----------	--------	----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	6,977,504 株	24年3月期3Q	6,978,321 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成25年3月期の連結業績予想は、「平成24年3月期 決算短信」(平成24年5月15日付)において公表した数値より変更してありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化する円高と2014年実施の消費税増税の心理的ストレスもあり先行きは極めて不透明な状況となっております。しかしながら12月の総選挙における政権交代、これに伴う金融緩和政策により円安の進展が現実なものとなってきております。

このような状況のなか、当社グループはメディア事業が輸入クラシック、ジャズ他定番の廉価輸入CD、K-POPなどが順調でした。洋書事業は店舗での売上げが落ちておりますが業務効率化を進め経費削減に努めました。洋書事業の特徴として売上高のメインの教科書注文は第4四半期に集中します。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は50億1千万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。営業利益は1千6百万円（前年同四半期比64.0%減）経常損失は1千5百万円（前年同四半期の経常利益2千1百万円）となりました。四半期純損失におきましては、投資有価証券評価損他特別損失を3千9百万円計上した結果5千万円（前年同四半期の当期純損失5千5百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績は以下のとおりであります。

#### (出版物・雑貨輸出事業)

円高基調が定着していた中ですが、海外子会社への売上は概ね好調に推移しました。海外大学図書館・研究機関は予算削減での高額書籍の買い控えが続いており全体では厳しい状況でした。購読されている年間購読誌は、引き続き新規受注もあり堅調でありました。また、日本語教材、雑貨などは円高と外国製の競合他社の攻勢により苦戦を強いられました。

その結果、当部門の売上高は10億6千2百万円（前年同四半期比5.7%減）、営業利益は2千1百万円（前年同四半期比22.8%減）となりました。

#### (洋書事業)

ネットでの洋書販売が大幅に伸びており、店頭での販売は苦戦を強いられておりますが、TOEIC関連の高まりを受けて英語関連教材とペーパーバックは堅調でした。また弊社が総代理販売権を有しているNatureをはじめelle, MarieClaire他韓流関連の雑誌も堅調に推移しました。物流センター稼働による経費削減が功を奏しており、業務の効率化が進んでおります。

その結果、当部門の売上高11億6千9百万円（前年同四半期比14.7%減）、営業損失は8千2百万円（前年同四半期の営業損失1億2千3百万円）となりました。

#### (メディア事業)

輸入音響関連商品は当四半期末の円安への転換があったものの、全般では円高の追い風の中、音楽CDの主要購買層の35歳以上にターゲットを絞り海外代理店商品の発掘を強化して参りました。特にクラシックやジャズの代理店商品は好調で、ジャズレーベルの「Not Nowシリーズ」は累計で100万枚を超え大手レコード店、ネット販売店などの主要市場においてヒット商品となっております。雑貨関連においては、アジアからの輸入雑貨の開発を本格的に開始しました。特に大手雑貨販売店とタイアップした、スマートフォン関連のヘッドフォンやスマートフォンケースカバーは収益に大きく貢献しました。

その結果、当部門の売上高は23億9百万円（前年同四半期比9.3%増）、営業利益は1億1千万円（前年同四半期比23.0%減）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

日貿ビルについては、12月6日に固定資産譲渡契約を締結しております。このため賃貸収入の大幅な減少となりました。

その結果、当部門の売上高は8千7百万円（前年同四半期比21.1%減）、営業利益は2千6百万円（前年同四半期比44.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ11億2百万円減少し、52億3千9百万円となりました。

これは主に流動資産で大学等への英語教科書の春季販売分の回収等により受取手形及び売掛金が7億7百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ10億6千5百万円減少し、44億8千3百万円となりました。

これは、主に流動負債で支払手形及び買掛金が9億2千1百万円減少したことによるものであります。

支払手形及び買掛金の減少は受取手形及び売掛金で記載した大学等へ販売した英語教科書の仕入代金の支払いによるものであります。

純資産は、主に四半期純損失5千万円の計上により3千7百万円減少し、7億5千6百万円となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末より1.9ポイント増加し14.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期第3四半期累計期間の業績予想につきましては、平成24年11月13日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお通期の業績予想につきましては変更ありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,307,813	978,802
受取手形及び売掛金	2,144,554	1,436,946
有価証券	11,808	—
商品及び製品	820,035	744,854
原材料及び貯蔵品	368	442
繰延税金資産	24,134	23,642
その他	98,404	169,898
貸倒引当金	△8,581	△7,203
流動資産合計	4,398,537	3,347,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	297,862	287,293
土地	1,178,600	1,178,600
リース資産（純額）	21,509	25,745
その他（純額）	10,092	8,792
有形固定資産合計	1,508,065	1,500,431
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	277,553	230,846
長期貸付金	5,832	4,932
繰延税金資産	55,284	55,279
その他	75,473	74,661
貸倒引当金	△36,651	△36,304
投資その他の資産合計	377,492	329,415
固定資産合計	1,944,108	1,892,478
資産合計	6,342,645	5,239,863

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,854,343	933,119
短期借入金	2,194,940	2,077,760
リース債務	9,336	11,407
未払法人税等	5,157	3,328
前受金	291,395	381,658
賞与引当金	15,412	3,845
返品調整引当金	39,961	8,669
デリバティブ債務	2,868	4,388
その他	196,912	144,523
流動負債合計	4,610,327	3,568,700
固定負債		
長期借入金	332,195	337,420
リース債務	22,996	23,158
退職給付引当金	155,104	133,988
再評価に係る繰延税金負債	371,604	371,604
その他	57,034	48,638
固定負債合計	938,935	914,810
負債合計	5,549,263	4,483,511
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	430,000	430,000
資本剰余金	195,789	195,789
利益剰余金	△386,884	△437,718
自己株式	△5,448	△5,706
株主資本合計	233,456	182,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△38,049	△26,608
繰延ヘッジ損益	△656	—
土地再評価差額金	671,057	671,057
為替換算調整勘定	△72,425	△70,463
その他の包括利益累計額合計	559,925	573,986
純資産合計	793,382	756,351
負債純資産合計	6,342,645	5,239,863

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	5,119,266	5,010,359
売上原価	4,166,653	4,140,142
売上総利益	952,613	870,216
返品調整引当金戻入額	75,613	67,307
返品調整引当金繰入額	45,626	36,015
差引売上総利益	982,600	901,508
販売費及び一般管理費	937,033	885,094
営業利益	45,567	16,414
営業外収益		
受取配当金	8,427	7,840
貸倒引当金戻入額	—	1,725
その他	1,480	1,781
営業外収益合計	9,907	11,347
営業外費用		
支払利息	28,572	27,446
為替差損	4,060	15,431
有価証券運用損	673	—
その他	332	143
営業外費用合計	33,639	43,021
経常利益又は経常損失(△)	21,835	△15,258
特別利益		
固定資産売却益	241	—
投資有価証券売却益	—	5,756
特別利益合計	241	5,756
特別損失		
投資有価証券売却損	162	—
投資有価証券評価損	58,188	15,223
テナント退去費用	—	24,435
その他	11,026	—
特別損失合計	69,377	39,658
税金等調整前四半期純損失(△)	△47,299	△49,161
法人税等	8,573	1,672
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△55,873	△50,834
四半期純損失(△)	△55,873	△50,834



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△55,873	△50,834
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,890	11,441
繰延ヘッジ損益	39,670	656
土地再評価差額金	52,654	—
為替換算調整勘定	△9,440	1,962
その他の包括利益合計	87,775	14,060
四半期包括利益	31,901	△36,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,901	△36,773
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	出版物・ 雑貨輸出 事業	洋書事業	メディア事 業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上 高	1,126,832	1,371,350	2,113,734	110,556	4,722,473	396,793	5,119,266	—	5,119,266
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	234,784	—	—	—	234,784	843	235,628	△235,628	—
計	1,361,616	1,371,350	2,113,734	110,556	4,957,257	397,637	5,354,894	△235,628	5,119,266
セグメント 利益又は損 失(△)	27,869	△123,306	143,494	48,125	96,183	17,092	113,275	△67,708	45,567

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△67,708千円はセグメント間取引消去△3,086千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△64,621千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社（提出会社）の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	出版物・ 雑貨輸出 事業	洋書事業	メディア事 業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上 高	1,062,342	1,169,762	2,309,827	87,222	4,629,155	381,203	5,010,359	—	5,010,359
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	222,510	—	—	—	222,510	2,921	225,432	△225,432	—
計	1,284,853	1,169,762	2,309,827	87,222	4,851,666	384,124	5,235,791	△225,432	5,010,359
セグメント 利益又は損 失 (△)	21,522	△82,519	110,494	26,573	76,071	7,539	83,610	△67,196	16,414

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△67,196千円はセグメント間取引消去1,846千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△69,042千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社（提出会社）の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。